

## 留学体験レポート

情報文化学科 2年 大桃 周

私はこの4ヶ月の韓国への派遣留学を通して、様々なことを体験しました。他国の文化は、初めての事ばかりで毎回新鮮な気持ちで自分なりに楽しんでいました。

派遣留学には、語学の上達を一つの大きな目的として行ってきました。国際情報大学でも語学の授業を通して、語学の勉強をしてきましたが、私は語学の上達に伸び悩んでいました。その不安も抱えて、派遣留学に行ったのですが、周りの友達との会話やトウミの協力や毎日韓国語に囲まれた生活を送ることによって、韓国語のスキルが派遣留学に行く前に比べてかなり上達できたと思います。実際に時間が経つにつれて、友達との会話が増えたり、授業のテストでもしっかり点を取れていました。

韓国での生活では、外国の友達と様々な場所に出かけました。特に、一緒に食事をするのが多かったです。学校の授業が終わった後や休日に、学校の周りや時々遠い場所に出かけ、韓国料理や他の国の料理を食べていました。様々な料理を食べることはもちろん、一緒に食事をしながら、学校や勉強の話・趣味の話・自分達の国の話など、韓国語を使って様々な話をするのがとても楽しかったです。他には、授業の一環で、ソーラク山に1泊2日で旅行に行きました。そこでも、登山やレクリエーションなどで、また新しい友達ができたり、留学しないと絶対にできない体験をすることができました。しかし、一番楽しかった思い出は、トルコの友達と韓国の友達と一緒に2回サッカー観戦に行ったことです。このトルコの友達は、同じクラスの友達で、授業の休み時間などで、よくサッカーの話をしていました。ある時、自分からサッカー観戦に行ってみたいと話してみると、韓国の友達を紹介してくれてサッカー観戦に連れて行ってもらうことができました。スタジアムでは、現地のサポーターの皆さんと一緒に、応援したり、喜んだり、叫んだり、ハイタッチなどしたりしてとても楽しむことができました。

最後に、今回の派遣留学を通して、派遣留学の生活を楽しんで送るには、友達をたくさんつくるのが大切だと思いました。外国の友達と遊ぶことは、とても楽しいことですし、会話をたくさんすることによって語学の上達にもつながります。なので、初めて会う人の前は緊張するかもしれませんが、自分から

積極的にフレンドリーに接することが大切だとも思いました。